



しでがの通信
 第126号
 羽津小 P・T・A
 〈編集発行〉
 発行所 羽津小学校

として保存して下さい

おちばのきょうりゅう

一ねとくみ もり くみ

一年三くみは、アロサウルスをつくることにきめました。

さいしょに、おちばをたくさんあつめました。

はんではるところをきめました。わたしのはんは、かおになりました。

はっぱをはるとき、なんかいもはがれたので、くつつけるのがとつてもたいへんでした。

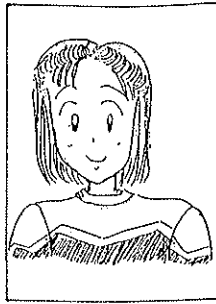
できあがったとき、かわもと先生がきて、

「じょうずやねえ。」と、ほめてくれました。

でも、はっぱのいろがめちやくちやなので、もういどつくりなおしました。

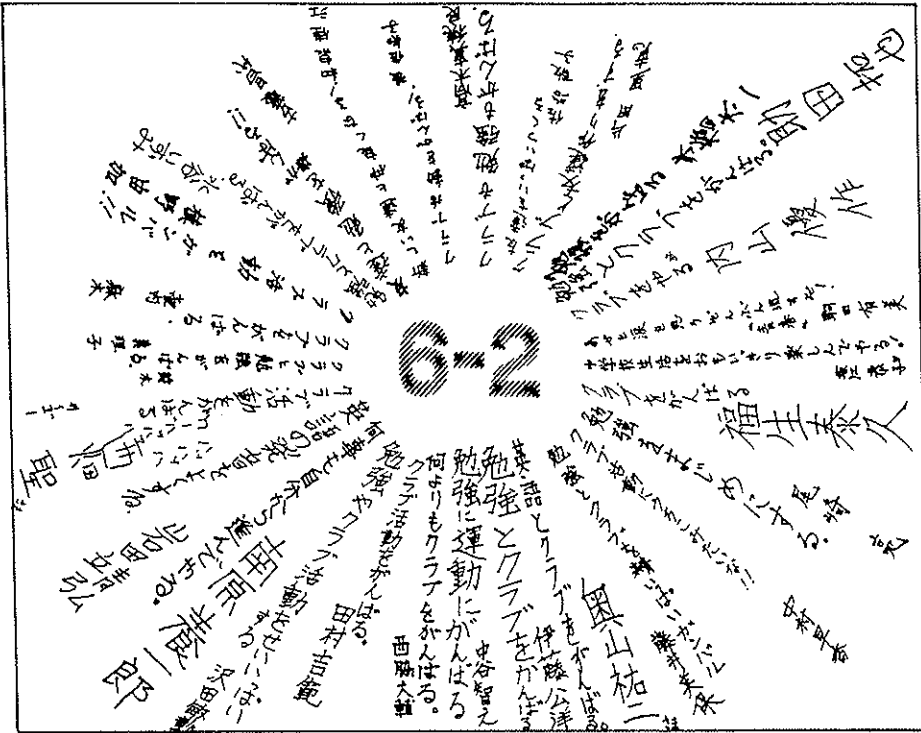
やつとできあがって、おかあさんにみせるのがたのしみだった。

おちばのきょうりゅう.....1
 はばたけ 心豊かに.....2
 夢と希望に満ちた門出.....3
 思い出のスナップかるた.....5
 こんなにあったよ・先生からの五日制.....6
 編集後記.....6

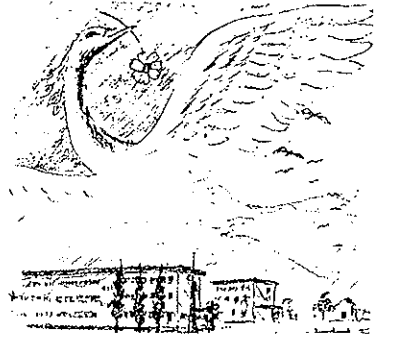


山本やよい先生

卒業おめでとう！
 小学校六年間で、たくさんの人に出会い、いろいろな事を学んできたと思います。これからも、出会いを大切に、自分の心を大きく豊かに育てていってほしいですね。



はばたけ 心豊かに



黒田義彦先生 画

感謝の気持ちを 忘れずに

校長 清水 英範

六年生の皆さん、ご卒業おめでとう。入学以来六年間、時には苦しかったことや、つらかったこともあったことと思いますが、皆さん一人ひとりの努力で乗り越え、はれて卒業の日を迎えることができました。

しかし、その陰には、ご両親をはじめ家族の皆さん、先生、地域の皆さん、その他多くの人々の善意と努力があったからこそ、今日の皆さんがあることを、卒業に際して改めて思い返し、感謝の気持ちを持つことが大切です。

今、人々の間に感謝の気持ちが欠けていると、よく言われています。義務を果たすことを忘れて、権利ばかりを主張する風潮も見られます。

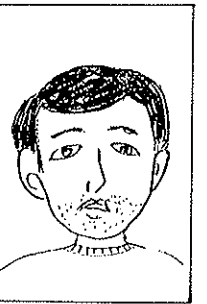
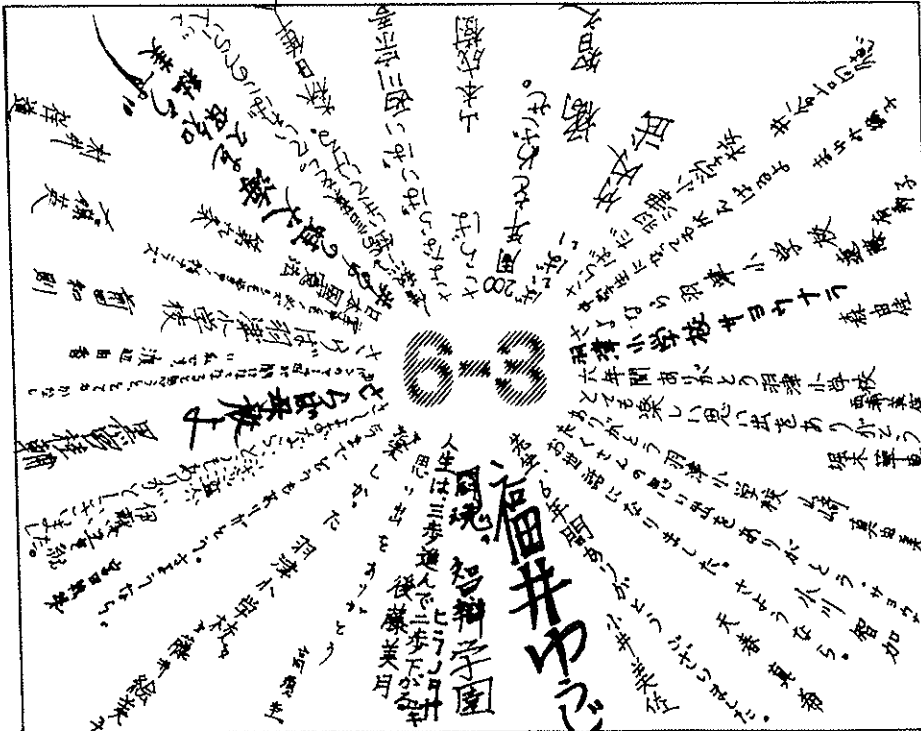
ほかの人から受けた好意を当然だと思い、感謝の気持ちを忘れた人間が、残念ながら多いことも事実です。

いつも感謝の気持ちを忘れず、心豊かな人間に成長してほしいと思います。皆さんの今後の活躍と健康を心より祈っています。



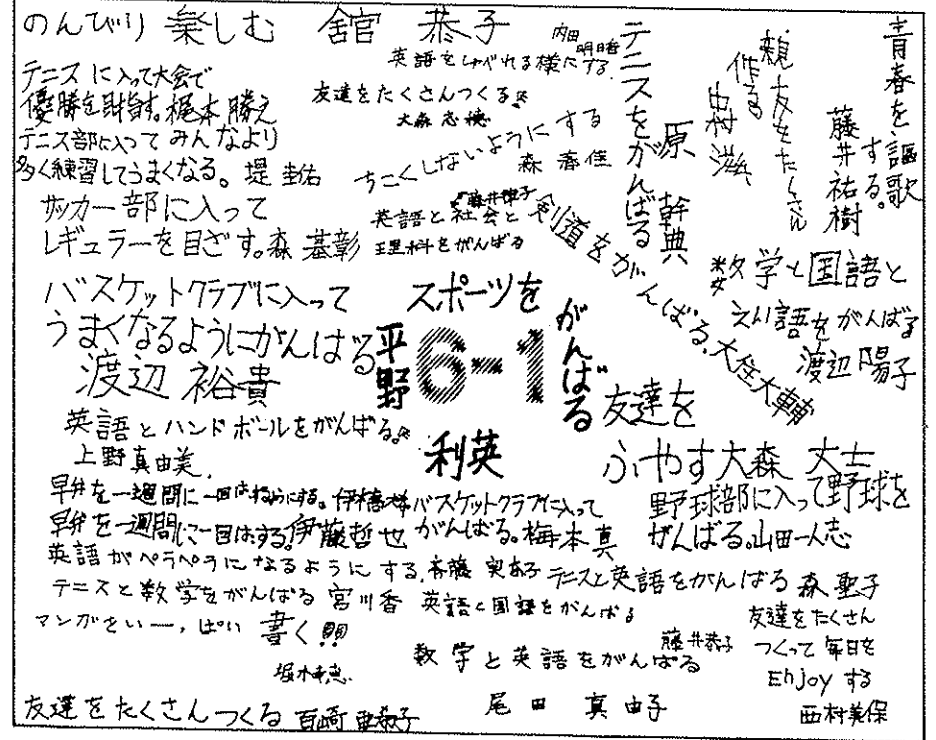
阿部敦子先生

卒業おめでとう。
 何をしても、まず健康！その健康な体で、何事にも本気で取り組もう。いろんな事にも挑戦してみよう。きっと、今まで知らなかった自分が見えてくるだろう。



川辺雅史先生

卒業おめでとう！！
 人生楽ありや苦もあるさ！これから先、何となく「苦」が訪れるだろう。その時こそ「努力」があるのみ！！「苦」を乗り越えたいところは「楽」が待っているのだ。がんばれ！！



ちよっぴりの不安と期待を胸にはずませている君たちへ、羽津中学校の先生方より、あたたかいメッセージをいただきました。

夢と希望に満ちた

門 出



新しい門出にむけて

羽津中学校
一年担任 伊藤 和子

この四月、羽津中へ入学されるみなさん、卒業おめでとう。六年間通った小学校を離れるのは、さびしいかもしれません。でも、中学生とよばれるのも少し大人になったようで、なかなか良いものです。いま、私は一年生担当ですがみんなが、勉強、クラブ、学校行事ととても楽しそうにがんばっているのを見て、良い一年だったなあと感じています。今年の一年生も良い上級生に迎えられたように、きっとあなたたちを、優しく迎えてくれるでしょう。

夢と希望を持って

羽津中学校
二年担任 奥村 美香

六年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。四月からは、いよいよ中学生です。小学校にはなかった英語や技術家庭の勉強が始まり、教科によっても先生が変わるので、多くの先生方と触れ合うことができます。また、毎日クラブ活動に参加し、自分の可能性に挑戦することもできます。これから三年間みな

さんは、多くの事を経験することだと思います。不安もあるかもしれませんが、夢と希望を持ってがんばってください。先生、先輩たちは、ピカピカの制服を着たみなさんが、入学して来てくれる日を楽しみにしています。

中学時代へようこそ

羽津中学校
三年担任 杉野 里美

中学校は、小学校よりもますますす外への世界が広がっていきますが、同時に内に向ってもどんどん深くなっていく時でもあります。つまり、「自分」というものにもめざめていく時であり、そのために心がとても不安定になり、悩みも多くなっていきます。(もうその世界に足をふみこんでいる人もいるかもしれません。...) そんな時はどうしますか？方法はいろいろありますが、本を読んでもみるのもいいですよ。幸い、羽津中学校の図書室には、元気のよい本、やさしくなる本、勇気のある本、いろいろな本、活字の苦手な人にはマンガも用意してあります。——と、図書室のPRをしてみました。しかし、いちばん心の敏感な時期に、すばらしい本に出会えたら、それは一生の宝物になると私は思うのですが...

自立に向かって

羽津小学校
教頭 佐藤 晋輔

六年生のみなさんが、羽津小学校を、巣立つ「日」、それは、新たな自立に向かってスタートする日でもあります。自立には、①「自分でできる」とは、自分で「行」あるいは、②「何事も人に頼らず、自分の意志で決める」さらには、③「経済的にも一人立ちし、自分の責任において生きていく」といった意味があります。

中学校に進むみなさんは、さしずめ①と②のかなりの部分を自分でやっていくこととなります。中学校に入学したみなさんは、さっそくこのクラブに入るか自分で決めねばなりません。また、クラブと勉強を両立させるために、自分で汗をかき自分でがんばっていかねばなりません。そして、中三になると、先生や両親のアドバイスを受けながらも、最終的には自分で進路を決めていくこととなります。それは、自立への第一歩であり、人生のなかでかけがえのないすばらしい青春の日々でもあるのです。みなさんの青春に大きな拍手をおくりします。

い (羽津中学校 伊藤 和子)

お (羽津中学校 奥村 美香)

で (羽津中学校 杉野 里美)

も (羽津小学校 佐藤 晋輔)

いつたい
モリッ
あるのかな
(二月二十九日 かるたとり大会)

もうすこしで
ゴールだ
ガンバシ!!
(二月十九日 マラソン大会)

トクサカ
エント
シヨホホ
(中四下・中四 西条 義典)

夢と希望に満ちた

門 出

ちよっぴりの不安と期待を胸にはずませている君たちへ、羽津中学校の先生方より、あたたかいメッセージをいただきました。

新しい門出にむけて

羽津中学校
一年担任 伊藤 和子

この四月、羽津中へ入学されるみなさん、卒業おめでとう。六年間通った小学校を離れるのは、さびしいかもしれません。でも、中学生とよばれるのも少し大人になったようで、なかなか良いものです。いま、私は一年生担当ですがみんなが、勉強、クラブ、学校行事とともに楽しそうにがんばっているのを見て、良い一年だったなあと感じています。今年の一年生も良い上級生に迎えられたように、きっとあなたたちを、優しく迎えてくれるでしょう。

夢と希望を持って

羽津中学校
二年担任 奥村 美香

六年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。四月からは、いよいよ中学生です。小学校にはなかった英語や技術家庭の勉強が始まり、教科によっても先生が変わるので、多くの先生方と触れ合うことができます。また、毎日クラブ活動に参加し、自分の可能性に挑戦することもできます。これから三年間みな

さんは、多くの事を経験することだと思います。不安もあるかもしれませんが、夢と希望を持ってがんばってください。先生、先輩たちは、ピカピカの制服を着たみなさんが、入学して来てくれる日を楽しみにしています。

中学時代へようこそ

羽津中学校
三年担任 杉野 里美

中学校は、小学校よりもますますす外への世界が広がっていきますが、同時に内に向ってもどんどん深くなっていく時でもあります。つまり、「自分」というものにもめざめていく時であり、そのために心がとても不安定になり、悩みも多くなっていきます。(もうその世界に足をふみこんでいる人もいるかもしれません。...) そんな時はどうしますか？方法はいろいろありますが、本を読んでもみるのもいいですよ。幸い、羽津中学校の図書室には、元氣のなる本、やさしくなる本、勇気のでる本いろいろあります。活字の苦手な人にはマンガも用意してあります。——と、図書室のPRをしてしまいました。いちばん心の敏感な時期に、すばらしい本に出会えたら、それは一生の宝物になると私は思うのですが...

自立に向かって

羽津小学校
教頭 佐藤 晋輔

六年生のみなさんが、羽津小学校を、巣立つ「日」、それは、新たな自立に向かってスタートする日でもあります。自立には、①「自分でできる」とは、自分で「行」あるいは、②「何事も人に頼らず、自分の意志で決める」さらには、③「経済的にも一人立ちし、自分の責任において生きていく」といった意味があります。

中学校に進むみなさんは、さしずめ①と②のかんりの部分を自分でやっていくこととなります。中学校に入学したみなさんは、さっそくどのクラブに入るか自分で決めねばなりません。また、クラブと勉強を両立させるために、自分で汗をかき自分でがんばっていかねばなりません。そして、中三になると、先生や両親のアドバイスを受けながらも、最終的には自分で進路を決めていくこととなります。それは、自立への第一歩であり、人生のなかでかけがえのないすばらしい青春の日々でもあるのです。みなさんの青春に大きな拍手をおくりします。

い
羽津中学校
伊藤和子
二年担任



お



も



い

いったい
モリ
あるのかな
二月二十九日
かるたとり大会

で



もうすこしで
ゴールだ
ガンバシ!!
二月十九日
マラソン大会

トモカサ
エント
しんおめんと
四月十九日
音楽会

こんな日があったよ!

五年生の奉仕活動

城山公園
三角公園

12月14日

こどもの感想から

・きたくない公園でも、みんなの協力で、きれいな公園になった。
 ・私たちが拾ってなかったら、小さい子たちが、ケガをしたと思う。
 ・体験を今後に生かして、囲りの人に広められたらいいなと思います。
 ・これからは、ゴミの投げ捨てをやめてほしい。
 ・自然の公園を、もっと大切にしたいと思う。
 ・使える物は最後まで使いたい。
 ・公園そうじ以外でも意欲的に、がんばりたい。



先生よりひとこと
 子どもから「一度、私たちもやってみたよ...」という意見が出た時、その気持ちを大切に、各学級で話し合い、学年集会で羽津地区の公園掃除を自主的に決め実施することができた。この取り組みを通し、羽津の町をきれいにしようという気持ちも育ってきた。今、叫ばれている環境問題につながっていくのでは。ご家庭でも、お子さんが何かをやってみてほしいと言ったら、一度とりくませてはいかががでしょうか。

先生からの五日制

今回は、先生方から五日制を実施してみても感想をききました。

良かったこと

- ・子どもは、2日休みで心身ともにゆっくりでき、親子のふれ合う時間も増え、楽しく休日をすごしている。
- ・休み明けの月曜日に子どもたちが、休日のことを楽しそうに話すことが多い。
- ・子どもにとって、生活にゆとりが出たり、精神的なゆとりが持てたりしたのがプラス。

気になること

- ・指導要領を変えない限り、完全実施には必ず無理が生じる。早く教育課程の改革が必要。
- ・五日制のため、子どもたちの楽しい行事をけずっていくようでは、真のゆとりにつながらない。
- ・休みの疲れから、少しぼんやりしたり、集中力に欠けたりする子どもがみられる。



学級菜園造園の奉仕作業 (12月26日)

創立百二十周年

羽津小学校は、平成六年五月十日に創立百二十周年を迎えます。迎えるにあたって、昨春秋「百二十周年記念事業準備実行委員会」が発足、着々と準備を進めております。

編集後記

皆様に「しでがの」一二六号をお届けする運びとなりました。この度、市P連によるPTA広報紙コンクールにおいて、わが校の「しでがの」が入選いたしましたので報告いたします。皆様のご協力のお陰と深く感謝いたします。どうもありがとうございました。

編集委員

- | | |
|--------|--------|
| P大森 京子 | 福井 令子 |
| 生川 千夏 | 山中わか子 |
| 藤井まゆ美 | 裏川ちえり |
| 山崎 貴子 | 服部 智子 |
| 奥山 順子 | 日沖美代子 |
| 本郷 郁子 | 森 房枝 |
| 宮川 悦子 | 顧正岡 智子 |
| 丁市川 晴美 | 加藤美恵子 |
| | 前田 治美 |

